

# 【 第24回 世界学生選手権大会（女子） 】

2018年7月30日～5日

開催国：クロアチア・都市：リエカ

## 試合結果報告（準決勝） 8 月 4 日（土）

JPN(日本)	VS	KOR(韓国)
<b>16</b>	前半	<b>12</b>
<b>12</b>	後半	<b>9</b>
	第一延長	
	第二延長	
<b>28</b>	合計	<b>21</b>

### 個人得点

No.	名 前	得点
1	馬場 敦子	
3	北原 佑美	1
4	木村 有沙	
5	近藤 万春	4
6	佐原 奈生子	
7	谷 華花	3
10	永塚 梓	
11	服部 沙紀	10
12	犀藤 菜穂	
13	初見 美椰子	4
15	堀川 真奈	
17	松本 ひかる	1
35	中山 佳穂	5
39	笠井 千香子	
	<b>合計</b>	<b>28</b>

### 戦評

世界学生選手権大会・女子準決勝は、日本対韓国のアジア勢同士の対決となった。韓国は先に行われた女子ジュニア世界選手権大会で3位となった主カメンバーを含め、国際経験豊富な選手で構成された強敵である。日本は、開始早々から韓国のスピードのある1対1で崩され、DFの間を突破される不安な立ち上がり。しかし、中山のステップ、服部の速攻などですぐに追いつく。韓国は司令塔のCBNo.9がテンポの良いパスワークからPVとのコンビで得点を上げると、日本も近藤の速攻、初見のカットインで一進一退の攻防が続く。前半残り5分から谷のポスト、服部の速攻、さらに谷の連続得点で一気に4点差をつけて前半を終了する。

後半に入っても攻撃の手を緩めない日本は、服部のサイドなどで3連続得点する。韓国のエースで現在得点ランキング1位のNo.19の1対1をしっかりと抑え、積極的なDFで相手ミスを誘い、速攻に繋いで加点、後半20分にはこの試合最大となる8点差をつける。途中、韓国の監督の執拗な抗議に対して、レッドカードが出るなど韓国チームに焦りが見え始める。残り10分日本のミスから韓国が速攻に繋ぐが、中盤の得点差が響き、最終的には28-21と日本が決勝進出を決めた。宿敵韓国との一戦に勝利できたことは、今後の両国の対戦においても重要で価値ある試合であった。

明日は金メダルをかけてブラジルとの決勝、予選リーグの借りを返し、優勝を目指す。

報告記入者：

齊藤 慎太郎